House 04

築150年の『松陰コモンズ』で営む男女7人・7通りの暮らし

シェアード型コレクティブリビング　『松陰コモンズ』の住人達

世田谷線松陰神社駅から数分、築150年の日本家屋で、年齢も職業も異なる男女7人が暮らしている。『松陰コモンズ』という名のこの建物は、大きく分けて3つのスペースからできている。一つは居住者の個室〝プライベートスペース〟、一つはキッチンや風呂などの居住者の共有スペース〝プライベートコモンスペース〟、そしてもう一つが居住者の他、地域にも開放される座敷〝パブリックコモンスペース〟だ。その暮らしは2002年3月にスタートし、以来何度か居住者が入れ替わりながら、今年で7年目に突入した。

血のつながりのない7人が一つ屋根の下で暮らすためには、当然ルールが必要となる。キッチン、トイレなどを住人同士が共有する松陰コモンズでは、〝掃除はエリアごとに担当者が行う、日用品は月直（月ごとの担当者）が共有費で買う〟など最低限の決まりごとがある。食事に関しては、それぞれが自分の分だけ作るというスタイルをとっている。

松陰コモンズの一日は長い。朝5時、一人目が起き出すのを皮切りに、二人目三人目と起き、出かけていく。夜は6時に帰宅する人もいれば、真夜中に帰ってくる人もいる。誰かと誰かがたまたま会えばダイニングは語らいの場へと変わり、休日には誰かがバーベキューをし、そこにまた誰かが加わって……。

そんな毎日を繰り返し、着実に歴史を積み上げてきた松陰コモンズ。そこには確かに、〝新しい住み方のカタチ〟が根付いている。

はみだしアンケート　世田谷のどこが好き？／世田谷の畑でとれた新鮮な野菜がおいしいこと！／40代女性

1：左から、久米さん（'06年12月～居住）、奥山さん（'08年4月～）、橋本さん（'02年3月～）、藤原さん（'03年2月～）。2：みなが思い思いの時間を過ごすダイニング。3：この味わい深さこそ、古民家の最大の魅力。4：20畳のお座敷は、地域の交流の場として、居住者のマネジメントにより外部の人達にも貸している

5：家の構造は、1階にお座敷と4つの個室、キッチン、居間、サンルーム、風呂、2階に3つの個室となっている。6：この日は藤原さん主宰のバーベキュー。　※松陰コモンズに関する詳細はhttp://www.chc.or.jp/ を参照

世田谷暮らし3つの質問

1　今の家に住む決め手になったことは?

以前海外で住んでいたシェアハウスが楽しかったんです。日本でもそんな暮らしをしたいと探すうちここに出会いました。(橋本さん)

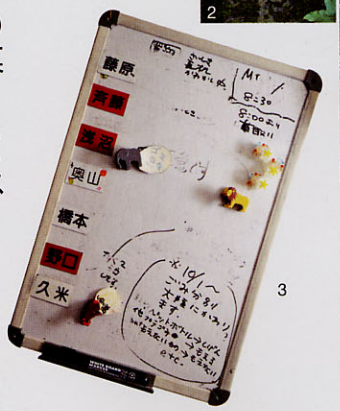
2　家の中で気に入っているところは?

木や畳の香りがする座敷が好き。こんなに広い座敷スペース、一人暮らしでは持てませんからね。(奥山さん)

3　世田谷のお気に入りの店やスポットは?

駒沢公園。公園周辺にはお店がたくさんあり、路地裏に入れば大邸宅があったりと、散歩するのも楽しいところです。(奥山さん)

「ここでの暮らしは、人と人とのほどよい距離感が心地いいんです」



1・2：昔ながらの日本家屋なので、冬はどうしても寒い。けれど、季節を肌で感じられるのもここでの暮らしの魅力かもしれない。3：重要な連絡事項はこのボードに書き込む

はみだしアンケート　世田谷のどこが好き？／子どもが多い街だからか、周囲の人の子どもへの対応が優しい気がします。都会と田舎のほどよい融合具合も気に入っています／30代女性